

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月3日

評価対象事業		評価者	消防総務課長 高木 守	
消防-01	実施事業	消防運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 消防総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	職員の健康管理、事務の効率化、各団体との情報交換等を実施し、消防業務の円滑化を図るため。
効果	職員の元気回復・体力増進、消防業務の効率化を図り、県、国レベルでの災害応援要請等があった場合の活動体制を確立し、迅速な活動をめざすとともに各自治町内会、企業等、地域ぐるみの市民等の防火防災意識を深めることができる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・旅費、各署所の光熱水費、負担金等の執行、事務用機器の賃借及び職員への被服の貸与など消防に係る一般事務を行った。 ・職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画し実施した。 ・市内各自治町内会、企業等に消防出初式への参加を通じ、防火防災意識を高めた。 ・消防職員に占める女性職員数の割合向上を目的として、女性学生等を対象としたワンデーインターンシップを開催した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,466人	176,308人	人 口	176,436人	・各年3月31日(住民基本台帳)	
	世 帯 数	81,150世帯	81,763世帯	世 帯 数	82,444世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	41,683	45,428	当初予算(千円)	46,454		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	5,587	5,074	その他	6,340		
	一般財源	36,096	40,354	一般財源	40,114		
	人員配置数	4.5	4.5	人員配置数	4.5		
事業経費	人件費(千円)	35,326	36,250	人件費(千円)	36,529		
	総事業費(千円)	77,009	81,678	総事業費(千円)	82,983		
	市民1人当りの経費(円)	436	463	市民1人当りの経費(円)	470		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	1. 成果は出ておらず、改善が必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	職員に専門知識を取得させることを最優先に考え、消防活動に必要な配置人員確保しつつ、限られた人員の中人員補充等を行い継続的に職員研修等を行う。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等を遵守し業務を遂行するにあたり、最新の内容の研修を受講し、適正な事務処理及び現場活動を実施することが必要である。 ・消防出初式は、市民に対する防火防災意識を高める場として、今後も継続して実施する必要がある。 ・消防本部主催のワンデーインターンシップや採用広報を通じて、人材確保に向け積極的に取り組む。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	職員を研修等へ派遣する際、警備人員の関係上派遣人員が制限されている状況である。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	人員補充、適正な人員配置を行いながら、可能な限り研修等へ派遣を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	多種多様な災害に対応するため、高度な技術習得の必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	職員研修による知識等の向上					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	予算編成時に設けた研修実績		
専門的な知識を習得させ、市民の安心・安全に反映させるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	70.0	75.0	90.0	100.0	100.0				
	達成率	70.0%	75.0%	90.0%	100.0%	100.0%				

指標の内容	消防出初式開催による防火意識の向上					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	各種防火アピールに対するの自己評価		
市民に対し、積極的に防火防災をアピールし、さらに消防行政への理解を深めてもらう。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--